

特産品開発事業

自治体情報 奈良県天理市

人口 / 67,039人 標準財政規模 / 14,136百万円

担当課 農林課
 電話番号 代表 0743-63-1001
 実施主体 天理市
 関連ホームページ

事業期間 平成22年度から
 関係施策分類

予算関連データ

総事業費：416千円

名称	所管	金額(千円)
一般財源	-	416

施策のポイント

「天理市生活改善グループ連絡会」は天理市の支援を受けて特産物を使った加工品の開発に取り組み、昨年の「奈良発！新・うまいもの選手権in天理」で【緑のトマトジャム】を出展して準グランプリを獲得した。

施策の概要

1. 取組に至る背景・目的

「天理市生活改善グループ連絡会」は天理市の農家の女性（お母ちゃん）の集まりで、女性ならではの視点から農業への理解、地元農産物のPR、子どもたちへの食育などの活動をしている。また、地元農産物をより多くの人に知ってもらうため天理市の支援を受けて特産物の加工品の開発にも取り組んでいる。

2. 取組の具体的内容

天理市は、奈良県の中でも1番のトマト産地であるが、収穫の終わりになると青いトマトが樹についたまま片付けられるのを見て、「天理市生活改善グループ連絡会」の会員はいつも「もったいない」と思っていた。

この「もったいない」思いを商品にしようと「緑のトマトジャム」が生まれた。

天理市農林課は商品開発にあたっての財政面（特産品開発に必要な材料費・原料代・燃料代等）及び販路の開拓（JA・Aコープ・直売所）で支援をおこなった。

3. 施策の開始前に想定した効果、数値目標など

消費者の方に「天理市には、こんな美味しいものがあるんだ！」と知ってもらえるように、地元農産物のPRになるような加工品（ジャム）の開発を行う。

4. 現在までの実績・成果

「天理市生活改善グループ連絡会」は食育活動の一環として、毎月1回第2土曜日には地元スーパーで朝市を開催、夏には「そうめん流し」のイベントを行っている

昨年の「奈良発！新・うまいもの選手権in天理」で【緑のトマトジャム】を出展して準グランプリを獲得した。

5. 導入・実施にあたり工夫した点や苦労した点とその対処法・解決策など

「緑のトマトジャム」は青いトマトの風味を活かしながら、美味しいジャムに作るのが課題であった。また、トマトジャムは、季節商品で収穫時期に加工が集中するため専業農家の会員が多い「天理市生活改善グループ連絡会」では、午後から夜間にかけての加工作業となった。

6. 今後の課題と展開

「天理市生活改善グループ連絡会」ではジャム作りの合間に商品作りについて話し合い改良を繰り返しており、今後はイベントでの消費者の意見を取り入れてさらに地元農産物のPRになるようなジャム作りを行っていく。

天理市としても、引き続き特産物を使った加工品の開発に取り組む団体を支援し、地元農産物のPRを行い、「山の辺の道地域づくり協議会」とも連携して山の辺の道周辺地域の活性化に取り組んでいく。